

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 3 部門第 2 区分
【発行日】 令和 5 年 12 月 21 日 (2023.12.21)

【公開番号】 特開 2022-58064 (P2022-58064A)
【公開日】 令和 4 年 4 月 11 日 (2022.4.11)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2022-064
【出願番号】 特願 2020-175650 (P2020-175650)
【国際特許分類】

A 61 K 8/368 (2006.01)

10

A 61 K 8/49 (2006.01)

A 61 Q 19/02 (2006.01)

A 61 K 31/235 (2006.01)

A 61 K 31/353 (2006.01)

A 61 P 43/00 (2006.01)

A 61 P 17/00 (2006.01)

【F I】

A 61 K 8/368

A 61 K 8/49

A 61 Q 19/02

20

A 61 K 31/235

A 61 K 31/353

A 61 P 43/00 1 1 1

A 61 P 17/00

【手続補正書】

【提出日】 令和 5 年 11 月 8 日 (2023.11.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

30

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表皮角化細胞におけるアクチン再編成の誘導を阻害する阻害剤であって、ポリフェノール化合物を有効成分として含有することを特徴とするアクチン再編成阻害剤。

【請求項 2】

線維芽細胞の存在下での表皮角化細胞におけるアクチン再編成の誘導を阻害する阻害剤であって、ポリフェノール化合物を有効成分として含有することを特徴とするアクチン再編成阻害剤。

40

【請求項 3】

前記ポリフェノール化合物が、没食子酸及びカテキン誘導体からなる群より選択された 1 種又は 2 種以上である請求項 1 又は 2に記載のアクチン再編成阻害剤。

【請求項 4】

前記カテキン誘導体が、エピカテキンガラート及び／又はエピガロカテキンガラートである請求項 3 に記載のアクチン再編成阻害剤。

【請求項 5】

表皮角化細胞によるファゴサイトーシスの誘導を阻害する阻害剤であって、ポリフェノール化合物を有効成分として含有することを特徴とするファゴサイトーシス阻害剤。

【請求項 6】

50

線維芽細胞の存在下に表皮角化細胞によるファゴサイトーシスの誘導を阻害する阻害剤であって、ポリフェノール化合物を有効成分として含有することを特徴とするファゴサイトーシス阻害剤。

【請求項 7】

前記ポリフェノール化合物が、没食子酸及びカテキン誘導体からなる群より選択された 1 種又は 2 種以上である請求項 5 又は 6 に記載のファゴサイトーシス阻害剤。

【請求項 8】

前記カテキン誘導体が、エピカテキンガレート及び／又はエピガロカテキンガレートである請求項 5 ～ 7 のいずれかに記載のファゴサイトーシス阻害剤。

【請求項 9】

請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載のアクチン再編成阻害剤又は請求項 5 ～ 8 のいずれかに記載のファゴサイトーシス阻害剤を含有することを特徴とするシミ形成抑制剤。

【請求項 10】

請求項 9 に記載のシミ形成抑制剤を含有することを特徴とする皮膚外用剤。

10

20

30

40

50